

三木市環境審議会

報告事項資料

平成28年6月28日

三木市美しい環境部
環境政策課

1. これまでの経緯

H27.5 三木市は、北播磨5市1町によるごみ処理広域化への不参加を表明
「大栄環境」への民間委託を表明

H27.10 「三木市循環型社会創造研究会」を設置

～民間委託を「ゼロベース」から検証する～

H27.11 第1回研究会

- ①三木市単独
- ②北播磨5市1町による広域化
- ③民間活用

3つの方法を比較検討



H27.12 第2回研究会 「民間活用が最も有利」との結論

H28.2 プロポーザル方式で企業を公募

H28.3 「三木市一般廃棄物処理に係るプロポーザル選考委員会」で審査

H28.4 選考委員会から三木市へ、選考結果（大栄環境）の報告

H28.5

三木市は、大栄環境(株)を委託業者に決定

2. 事業提案の主な概要

① 一般廃棄物と産業廃棄物の混焼方式や処理施設能力のアップ（増炉）により、三木市にとって年間**約3.3億円のコスト減**

② 現在の三木市の**リサイクル率**（12.7%）が2倍近くの**20%以上に向上**



③ 先進的な取組み

バイオマス発電による**売電収入の一部を三木市に還元**



④ 地元優先で**50名程度の新規雇用**



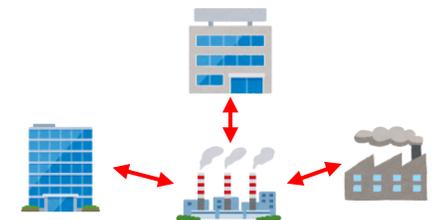
⑤ 行政による**定期的な環境モニタリング**

⑥ **他市町村からは一般廃棄物（可燃ごみ）は受け入れない**

⑦ 非常時の対応は兵庫県災害廃棄物処理の相互応援に関する協定や大栄環境グループ及び同業者ネットワークによるバックアップ処理により対応

【施設処理能力の比較】

現在の施設処理能力			提案の施設処理能力
三木市	大栄環境	計	
39 t × 3炉 =117 t	75 t × 2炉 =150 t	267 t	75 t × 2炉 + 220 t × 2炉 = 590 t



3. 今後のスケジュール

平成28年度

